

Ver 1.4

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙
モニタリング計画書

プロジェクト名	兵庫県養父市市有林森林管理プロジェクト
プロジェクト代表事業者名	兵庫県森林組合連合会

提出日 2011年11月25日

受理日 2011年11月25日

最終版提出日 2012年9月5日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	養父市八鹿町石原字妙見1755-5他に立地する36年生他のスギ26箇所、ヒノキ15箇所 地上部バイオマス: 8,264tCO2 地下部バイオマス: 2,088tCO2	CO2	
地下部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。		CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
なし				

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

II. 算定式（方法論項目5）

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。
本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

$$\Delta C_{total} = \Delta C_{FM} - \Delta C_{Base}$$

$$\Delta C_{FM} = \Delta C_{AG} + \Delta C_{BG}$$

ΔC_{total} 人為的純吸収量 (t-CO₂/年)

ΔC_{FM} 森林経営活動(間伐)に基づく、年間のCO₂吸収量 (t-CO₂/年)

ΔC_{Base} 森林経営活動(間伐)対象地のベースラインCO₂吸収量 (t-CO₂/年)

ΔC_{AG} 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地上部バイオマス中の年間吸収量 (t-CO₂/年)

ΔC_{BG} 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)

(tCO₂)

2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	計
1,228	2,013	2,428	2,379	2,305	10,353

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{AG} = \sum_i \Delta C_{AG,i} = \sum_i (Area_{Forest,i} \times \Delta Trunk_{SC,i} \times BEF_i \times WD_i \times CF \times 44/12)$$

$\Delta C_{AG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地上部バイオマス中の年間吸収量 (t-CO₂/年)

AreaForest,i 階層iにおいて森林経営活動(間伐)が実施された樹種別・林令別の森林面積 (ha)

※2007年4月以降の施業面積とする。

$\Delta Trunk_{SC,i}$ 収穫予想表等に基づく、階層iにおける単位面積当たりの幹材積の年間成長量 (m³/ha/年)

BEF_i 階層iにおける幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数

WD_i 階層iにおける成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数 (t/m³)

CF 樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率 (0.5)

i 1,2,3,・・・プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

(tCO₂)

2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	計
980	1,607	1,938	1,899	1,840	8,264

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{BG} = \sum_i \Delta C_{BG,i} = \sum_i (\Delta C_{AG,i} \times R_{ratio,i})$$

$\Delta C_{BG,i}$ 森林経営活動(間伐)に基づく、階層iにおける地下部バイオマス中の年間CO₂吸収量 (t-CO₂/年)

$R_{ratio,i}$ 階層iにおける地上部バイオマス中の年間CO₂吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数

i 1,2,3,・・・プロジェクト実施対象地における階層(地形、植栽樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

(tCO₂)

2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	計
247	406	490	480	465	2,088

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

なし

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

なし

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリングポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	方法論に記載されているパラメータを記入	モニタリング対象となる活動量の説明	測定方法・データ把握方法を記入(モニタリング方法ガイドラインにあるパターンから選択)	事業者自ら実測を行う場合、具体的な測定方法を記入(記入された測定方法により、第三者が同じ調査を実施できるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度を記入	モニタリング方法ガイドラインを参照し、測定機器のキャリブレーション・点検等を行ったか、また、行うかをチェックする	キャリブレーション・点検等実施・予定日	想定吸収量の算定に使用した値を記入	①施業年(林齢) ②その他特筆すべき事項があれば記入
例	〇〇小班XX	Area _{Forest}	間伐面積	森林GIS情報に基づく方法	間伐が実施された小班ごとに、電子コンパスを用いて…(追加資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	500m ²	①2008年度(42) ②2005年及び2010年に2度間伐を実施
1-1	66イスキ ⁺	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	5.98	①2007年度(41) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
1-2	66アスキ ⁺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	8.02	①2007年度(41) ②同上
1-3	66アスキ ⁺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.30	①2008年度(40) ②同上
1-4	66イスキ ⁺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.40	①2008年度(40) ②同上
2-1	80キシキ ⁺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.47	①2010年度(23) ②同上
2-2	80キシキ ⁺	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4.00	①2008年度(24) ②同上

2-3	81イスギ	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	9.34	①2009年度(46) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
2-4	85ウスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	5.40	①2009年度(47) ②同上
3-1	80キヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.20	①2010年度(26) ②同上
3-2	80キヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.00	①2008年度(24) ②同上
4-1	81エスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.10	①2008年度(39) ②同上
4-2	81エスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.05	①2008年度(39) ②同上
5-1	81エヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.52	①2008年度(39) ②同上
5-2	81エヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.65	①2008年度(39) ②同上
6	41アスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.95	①2008年度(38) ②同上
7	94ウスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.30	①2008年度(33) ②同上
8-1	28エスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.40	①2008年度(40) ②同上
8-2	28オスギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.39	①2008年度(40) ②同上

9-1	28エヒノキ	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	1.35	①2008年度(40) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
9-2	28オヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	0.40	①2008年度(40) ②同上
10	19イスギ	"	"	"	"	"	"	"	4.53	①2010年度(40) ②同上
11-1	16ウスギ	"	"	"	"	"	"	"	2.79	①2009年度(46) ②同上
11-2	16ウスギ	"	"	"	"	"	"	"	0.69	①2009年度(46) ②同上
21	6イスギ	"	"	"	"	"	"	"	3.60	①2010年度(39) ②同上
22	6イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	3.70	①2010年度(39) ②同上
23-1	11アスギ	"	"	"	"	"	"	"	2.00	①2007年度(38) ②同上
23-2	11イスギ	"	"	"	"	"	"	"	0.40	①2007年度(37) ②同上
23-3	11イスギ	"	"	"	"	"	"	"	1.50	①2007年度(37) ②同上
24-1	11アヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	2.00	①2007年度(38) ②同上
24-2	11イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	0.75	①2007年度(37) ②同上
24-3	11イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	1.50	①2007年度(37) ②同上

25-1	32イスキ [*]	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	0.75	①2007年度(41) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
25-2	32ウスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.75	①2007年度(41) ②同上
26-1	32イヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.75	①2007年度(41) ②同上
26-2	32ウヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.75	①2007年度(41) ②同上
27-1	57エスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.00	①2007年度(38) ②同上
27-2	57エスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.00	①2007年度(38) ②同上
28-1	84イスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.90	①2007年度(37) ②同上
28-2	84エスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.50	①2007年度(37) ②同上
29-1	84イヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.90	①2007年度(37.) ②同上
29-2	84エヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.50	①2007年度(37) ②同上
30-1	138イスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.00	①2010年度(39) ②同上
30-2	138イスキ [*]	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	5.00	①2010年度(37) ②同上

31-1	138イヒノキ	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	3.00	①2010年度(39) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
31-2	138イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	2.00	①2010年度(39) ②同上
32-1	139アスキ	"	"	"	"	"	"	"	16.00	①2008年度(40) ②同上
32-2	139アスキ	"	"	"	"	"	"	"	13.20	①2008年度(41) ②同上
33-1	161イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	2.30	①2009年度(35) ②同上
33-2	161イヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	19.86	①2009年度(35) ②同上
34	161ウヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	15.71	①2009年度(34) ②同上
41	36アスキ	"	"	"	"	"	"	"	20.04	①2009年度(40) ②同上
42	56ウスキ	"	"	"	"	"	"	"	5.54	①2010年度(40) ②同上
43	56ウヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	2.92	①2010年度(40) ②同上
44-1	101カスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.34	①2007年度(27) ②同上
44-2	101キスキ	"	"	"	"	"	"	"	5.66	①2007年度(27) ②同上
44-3	101キスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.04	①2007年度(26) ②同上
45-1	101キヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	3.00	①2007年度(27) ②同上
45-2	101キヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	0.75	①2007年度(26) ②同上

45-3	101キヒノキ	Area _{Forest}	間伐面積	実測(森林測量に基づく方法)	実施された小班毎にコンパスを用いて造林補助金申請時に測量(樹種界・林齢界の面積特定については参考資料3参照)	モニタリング時	○	測定毎	0.69	①2007年度(26) ②暫定的には森林施業計画書の面積、モニタリング時には補助金認定時のデータ使用
46	98エスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.87	①2007年度(41) ②同上
47-1	227アスキ	"	"	"	"	"	"	"	5.73	①2010年度(48) ②同上
47-2	227アスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.58	①2010年度(47) ②同上
47-3	227アスキ	"	"	"	"	"	"	"	0.17	①2010年度(45) ②同上
48	230アスキ	"	"	"	"	"	"	"	13.12	①2009年度(38) ②同上
51	107キスキ	"	"	"	"	"	"	"	7.66	①2010年度(32) ②同上
52	43イスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.20	①2007年度(41) ②同上
53-1	26アスキ	"	"	"	"	"	"	"	6.80	①2007年度(36) ②同上
53-2	26イスキ	"	"	"	"	"	"	"	2.30	①2007年度(36) ②同上
54-1	100イスキ	"	"	"	"	"	"	"	2.00	①2008年度(27) ②同上
54-2	100イスキ	"	"	"	"	"	"	"	1.50	①2008年度(26) ②同上
55	74アヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	7.00	①2007年度(34) ②同上
56-1	62イスキ	"	"	"	"	"	"	"	2.97	①2010年度(44) ②同上
56-2	62イスキ	"	"	"	"	"	"	"	3.48	①2009年度(49) ②同上
56-3	62イスキ	"	"	"	"	"	"	"	4.56	①2008年度(47) ②同上

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
			方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明							
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイ トの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を 記入(同一小 班名は識別 可能な方法 で記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載されて いるパラ メータを記 入	モニタリ ング対象と なるパラメ ータの説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、詳細 資料をⅦ 備考に添付すること 事業者自ら実測を行う場合は、具 体的な測定方法を記入すること (記入された測定方法により、第三 者が同じ調査を実施できるよう詳細 情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検を行っ たか、また、 行うかを チェックする	キャリブレー ション・点検 実施・予定 日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①特筆すべき事項があれば記入 ②Trunk: 植栽本数等の区分に よって収穫予想表が複数存在する 場合、使用する収穫予想表の選定 根拠(Ⅶ備考にて説明) ③(暫定)地位: その特定根拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽樹種ごとに伐倒試料 木を10本選定し・・・(追加資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
1-1	66イ	スギ	地位級	樹高・直径	実測に基づく方法	地上高1.3mにおける胸高直径を計 測し、胸高直径の大きい樹木(中央 値より大きい樹木)を対象にパーテ クスIVで樹高を計測する。 測定した結果を兵庫県民有林スギ・ ヒノキ人工林収穫予想表・林分材積 表のP.48の地位別曲線にあてはめ、 保守的な観点から該当上層樹高よ りも下位の地位を採用する。	モニタリング時	○	測定毎	2	暫定的に森林施業計画書の地位を 採用。モニタリング時にはプロット調 査により確定させた地位を採用す る。
1-2	66ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
1-3	66ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
1-4	66イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
2-1	80キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
2-2	80キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
2-3	81イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
2-4	85ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
3-1	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃

3-2	80キ	ヒノキ	地位級	樹高・直径	実測に基づく方法	地上高1.3mにおける胸高直径を計測し、胸高直径の大きい樹木(中央値より大きい樹木)を対象にバーテックスIVで樹高を計測する。 測定した結果を兵庫県民有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想表・林分材積表のP.48の地位別曲線にあてはめ、保守的な観点から該当上層樹高よりも下位の地位を採用する。	モニタリング時	○	測定毎		2	暫定的に森林施業計画書の地位を採用。モニタリング時にはプロット調査により確定させた地位を採用する。
4-1	81エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
4-2	81エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
5-1	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
5-2	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
6	41ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
7	94ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
8-1	28エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
8-2	28オ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
9-1	28エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
9-2	28オ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
10	19イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
11-1	16ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
11-2	16ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
21	6イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
22	6イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
23-1	11ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
23-2	11イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃

23-3	11イ	スギ	地位級	樹高・直径	実測に基づく方法	地上高1.3mにおける胸高直径を計測し、胸高直径の大きい樹木(中央値より大きい樹木)を対象にバーテックスIVで樹高を計測する。 測定した結果を兵庫県民有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想表・林分材積表のP.48の地位別曲線にあてはめ、保守的な観点から該当上層樹高よりも下位の地位を採用する。	モニタリング時	○	測定毎		2	暫定的に森林施業計画書の地位を採用。モニタリング時にはプロット調査により確定させた地位を採用する。
24-1	11ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
24-2	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
24-3	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
25-1	32イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
25-2	32ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
26-1	32イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
26-2	32ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
27-1	57エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
27-2	57エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
28-1	84イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
28-2	84エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
29-1	84イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
29-2	84エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
30-1	138イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
30-2	138イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
31-1	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃
31-2	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2	〃

32-1	139ア	スギ	地位級	樹高・直径	実測に基づく方法	地上高1.3mにおける胸高直径を計測し、胸高直径の大きい樹木(中央値より大きい樹木)を対象にバーテックスIVで樹高を計測する。 測定した結果を兵庫県民有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想表・林分材積表のP.48の地位別曲線にあてはめ、保守的な観点から該当上層樹高よりも下位の地位を採用する。	モニタリング時	〃	〃		2	暫定的に森林施業計画書の地位を採用。モニタリング時にはプロット調査により確定させた地位を採用する。
32-2	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
33-1	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
33-2	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
34	161ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
41	36ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
42	56ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
43	56ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
44-1	101カ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
44-2	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
44-3	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
45-1	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
45-2	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
45-3	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
46	98エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
47-1	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
47-2	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
47-3	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
48	230ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃

51	107キ	スキ	地位級	樹高・直径	実測に基づく方法	地上高1.3mにおける胸高直径を計測し、胸高直径の大きい樹木(中央値より大きい樹木)を対象にパーテックスIVで樹高を計測する。測定した結果を兵庫県民有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想表・林分材積表のP.48の地位別曲線にあてはめ、保守的な観点から該当上層樹高よりも下位の地位を採用する。	モニタリング時	〃	〃		3	暫定的に森林施業計画書の地位を採用。モニタリング時にはプロット調査により確定させた地位を採用する。
52	43イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
53-1	26ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
53-2	26イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
54-1	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
54-2	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		2	〃
55	74ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		3	〃
56-1	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		3	〃
56-2	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		3	〃
56-3	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		3	〃

1-1	66イ	スキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢毎に拡大係数を決定	吸収量算定時	不要	不要	1.23	20年生超
1-2	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
1-3	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
1-4	66イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
2-1	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
2-2	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
2-3	81イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
2-4	85ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
3-1	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
3-2	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
4-1	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
4-2	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
5-1	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
5-2	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
6	41ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
7	94ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
8-1	28エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
8-2	28オ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
9-1	28エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
9-2	28オ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
10	19イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
11-1	16ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
11-2	16ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃

21	6イ	スキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢毎に拡大係数を決定	吸収量算定時	不要	不要	1.23	20年生超
22	6イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
23-1	11ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
23-2	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
23-3	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
24-1	11ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
24-2	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
24-3	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
25-1	32イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
25-2	32ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
26-1	32イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
26-2	32ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
27-1	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
27-2	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
28-1	84イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
28-2	84エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
29-1	84イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
29-2	84エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
30-1	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
30-2	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
31-1	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃

31-2	138イ	ヒノキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢毎に拡大係数を決定	吸収量算定時	不要	不要	1.24	20年生超
32-1	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
32-2	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
33-1	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
33-2	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
34	161ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
41	36ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
42	56ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
43	56ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
44-1	101カ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
44-2	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
44-3	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
45-1	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
45-2	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
45-3	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
46	98エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
47-1	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
47-2	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
47-3	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
48	230ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
51	107キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
52	43イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃

53-1	26ア	スキ	BEF	拡大係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種・林齢毎に拡大係数を決定	吸収量算定時	不要	不要	1.23	20年生超
53-2	26イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
54-1	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
54-2	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
55	74ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.24	〃
56-1	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
56-2	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃
56-3	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.23	〃

1-1	66イ	スキ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に容積密度を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.314	
1-2	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
1-3	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
1-4	66イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
2-1	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
2-2	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
2-3	81イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
2-4	85ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
3-1	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
3-2	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
4-1	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
4-2	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
5-1	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
5-2	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
6	41ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
7	94ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
8-1	28エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
8-2	28オ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
9-1	28エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
9-2	28オ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
10	19イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	

11-1	16ウ	スキ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に容積密度を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.314	
11-2	16ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
21	6イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
22	6イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
23-1	11ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
23-2	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
23-3	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
24-1	11ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
24-2	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
24-3	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
25-1	32イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
25-2	32ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
26-1	32イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
26-2	32ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
27-1	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
27-2	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
28-1	84イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
28-2	84エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
29-1	84イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
29-2	84エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
30-1	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	

30-2	138イ	スキ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に容積密度を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.314	
31-1	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
31-2	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
32-1	139ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
32-2	139ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
33-1	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
33-2	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
34	161ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
41	36ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
42	56ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
43	56ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
44-1	101カ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
44-2	101キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
44-3	101キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
45-1	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
45-2	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
45-3	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
46	98エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
47-1	227ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
47-2	227ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
47-3	227ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
48	230ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	

51	107キ	スキ	WD	容積密度	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に容積密度を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.314	
52	43イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
53-1	26ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
53-2	26イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
54-1	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
54-2	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
55	74ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.407	
56-1	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
56-2	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	
56-3	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.314	

1-1	66イ	スキ	R_{radio}	地下部率	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に地下部率を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.25	
1-2	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
1-3	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
1-4	66イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
2-1	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
2-2	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
2-3	81イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
2-4	85ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
3-1	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
3-2	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
4-1	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
4-2	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
5-1	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
5-2	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
6	41ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
7	94ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
8-1	28エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
8-2	28オ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
9-1	28エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
9-2	28オ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
10	19イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	

11-1	16ウ	スキ	R_{radio}	地下部率	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に地下部率を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.25	
11-2	16ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
21	6イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
22	6イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
23-1	11ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
23-2	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
23-3	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
24-1	11ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
24-2	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
24-3	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
25-1	32イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
25-2	32ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
26-1	32イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
26-2	32ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
27-1	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
27-2	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
28-1	84イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
28-2	84エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
29-1	84イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
29-2	84エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
30-1	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
30-2	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	

31-1	138イ	ヒノキ	R_{radio}	地下部率	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に地下部率を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.26	
31-2	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
32-1	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
32-2	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
33-1	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
33-2	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
34	161ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
41	36ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
42	56ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
43	56ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
44-1	101カ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
44-2	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
44-3	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
45-1	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
45-2	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
45-3	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
46	98エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
47-1	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
47-2	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
47-3	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
48	230ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
51	107キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
52	43イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	

53-1	26ア	スキ	R_{radio}	地下部率	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	樹種毎に地下部率を決定	吸収量算定時	不要	不要	0.25	
53-2	26イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
54-1	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
54-2	100イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
55	74ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.26	
56-1	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
56-2	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	
56-3	62イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.25	

1-1	66イ	スキ	CF	炭素係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	スギ・ヒノキ共に0.5	吸収量算定時	不要	不要	0.5
1-2	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
1-3	66ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
1-4	66イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
2-1	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
2-2	80キ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
2-3	81イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
2-4	85ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
3-1	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
3-2	80キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
4-1	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
4-2	81エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
5-1	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
5-2	81エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
6	41ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
7	94ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
8-1	28エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
8-2	28オ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
9-1	28エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
9-2	28オ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
10	19イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5

11-1	16ウ	スキ	CF	炭素係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	スギ・ヒノキ共に0.5	吸収量算定時	不要	不要	0.5	
11-2	16ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
21	6イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
22	6イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
23-1	11ア	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
23-2	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
23-3	11イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
24-1	11ア	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
24-2	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
24-3	11イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
25-1	32イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
25-2	32ウ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
26-1	32イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
26-2	32ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
27-1	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
27-2	57エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
28-1	84イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
28-2	84エ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
29-1	84イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
29-2	84エ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
30-1	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	
30-2	138イ	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5	

31-1	138イ	ヒノキ	CF	炭素係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	スギ・ヒノキ共に0.5	吸収量算定時	不要	不要	0.5
31-2	138イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
32-1	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
32-2	139ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
33-1	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
33-2	161イ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
34	161ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
41	36ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
42	56ウ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
43	56ウ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
44-1	101カ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
44-2	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
44-3	101キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
45-1	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
45-2	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
45-3	101キ	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
46	98エ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
47-1	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
47-2	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
47-3	227ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
48	230ア	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
51	107キ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5
52	43イ	スギ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.5

53-1	26ア	スキ	CF	炭素係数	京都議定書3条3及び4の下でのLULUCF活動の補足情報に関する報告書	スキ・ヒノキ共に0.5	吸収量算定時	不要	不要	0.5	
53-2	26イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
54-1	100イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
54-2	100イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
55	74ア	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
56-1	62イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
56-2	62イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	
56-3	62イ	スキ	"	"	"	"	"	"	"	0.5	

1-1	66イ	スギ	Trunk _{SC}	幹材積の 年間成長 量	兵庫県民有林スギ・ヒノ キ収穫予想表・林分材 積表	決定した地位を使用して、兵庫県民 有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想 表・林分材積表のP43-P47の材積を 用い、年材積成長量(増加量)は、齢 級毎の材積の差を5年で除した値と する。	吸収量算定時	不要	不要	9.42	2008-2012年度
1-2	66ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
1-3	66ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008年度 ②2009-2012年度
1-4	66イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008年度 ②2009-2012年度
2-1	80キ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	15.42	2010-2012年度
2-2	80キ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①15.42 ②14.02	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
2-3	81イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2009-2012年度
2-4	85ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2009-2012年度
3-1	80キ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	8.74	2010-2012年度
3-2	80キ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①9.58 ②8.74	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
4-1	81エ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
4-2	81エ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
5-1	81エ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
5-2	81エ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
6	41ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2010年度 ②2011-2012年度
7	94ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①12.44 ②10.88	①2008-2010年度 ②2011-2012年度
8-1	28エ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008年度 ②2009-2012年度
8-2	28オ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008年度 ②2009-2012年度

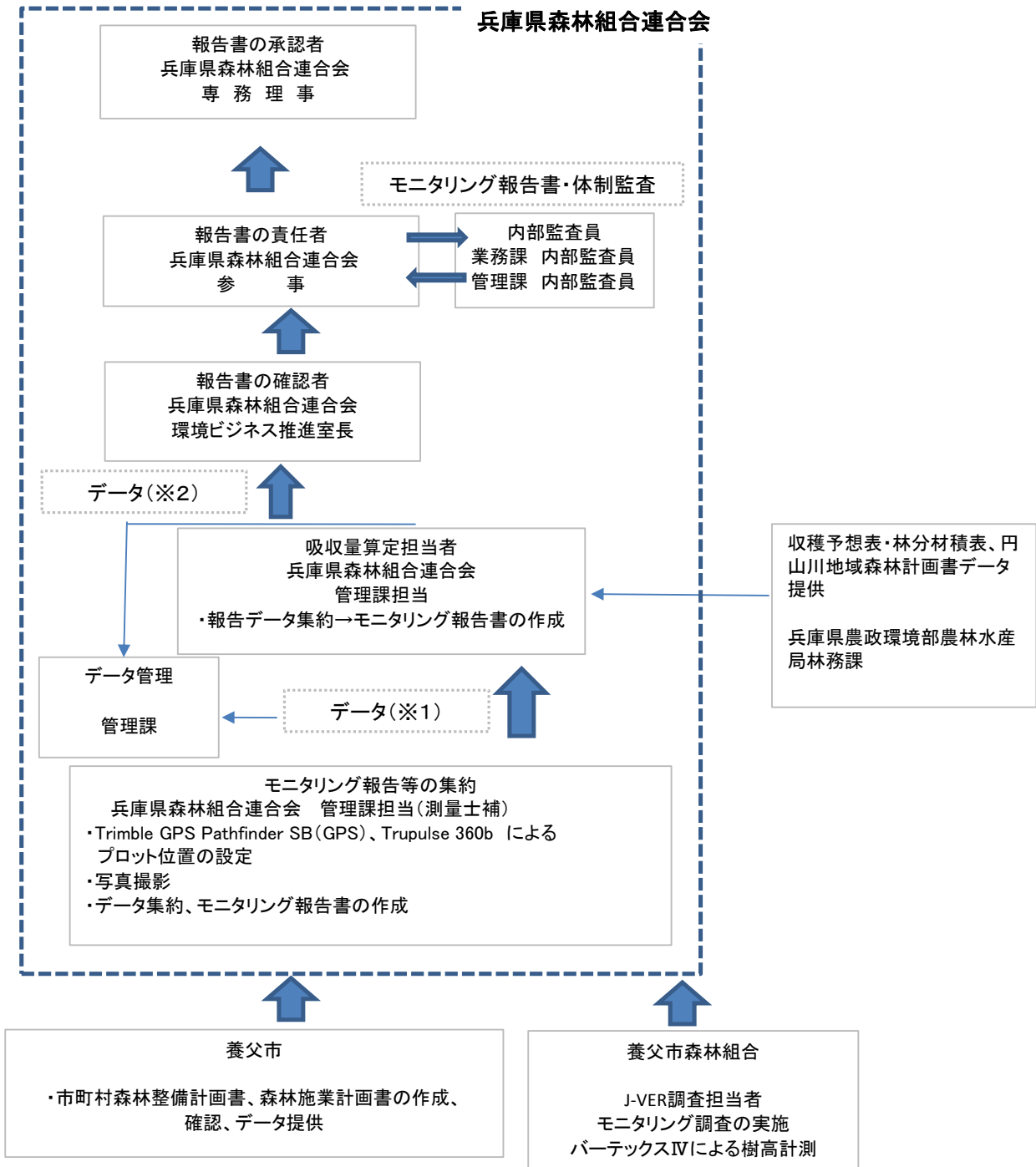
9-1	28工	ヒノキ	Trunk _{SC}	幹材積の 年間成長 量	兵庫県民有林スギ・ヒノ キ収穫予想表・林分材 積表	決定した地位を使用して、兵庫県民 有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想 表・林分材積表のP43-P47の材積を 用い、年材積成長量(増加量)は、齢 級毎の材積の差を5年で除した値と する。	吸収量算定時	不要	不要	①7.02 ②6.2	①2008年度 ②2009-2012年度
9-2	28才	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008年度 ②2009-2012年度
10	19イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2010年度 ②2011-2012年度
11-1	16ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2009年度-2012年度
11-2	16ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2009年度-2012年度
21	6イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2010-2011年度 ②2012年度
22	6イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2010-2011年度 ②2012年度
23-1	11ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2010年度 ②2011-2012年度
23-2	11イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2011年度 ②2012年度
23-3	11イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2011年度 ②2012年度
24-1	11ア	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2010年度 ②2011-2012年度
24-2	11イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2011年度 ②2012年度
24-3	11イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2011年度 ②2012年度
25-1	32イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
25-2	32ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
26-1	32イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	6.2	2008-2012年度
26-2	32ウ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	6.2	2008-2012年度
27-1	57工	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2010年度 ②2011-2012年度

27-2	57エ	スギ	Trunk _{SC}	幹材積の 年間成長 量	兵庫県民有林スギ・ヒノ キ収穫予想表・林分材 積表	決定した地位を使用して、兵庫県民 有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想 表・林分材積表のP43-P47の材積を 用い、年材積成長量(増加量)は、齢 級毎の材積の差を5年で除した値と する。	吸収量算定時	不要	不要	①10.88 ②9.42	①2008-2010年度 ②2011-2012年度
28-1	84イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2011年度 ②2012年度
28-2	84エ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008-2011年度 ②2012年度
29-1	84イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2011年度 ②2012年度
29-2	84エ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2008-2011年度 ②2012年度
30-1	138イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2010-2011年度 ②2012年度
30-2	138イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2010-2011年度 ②2012年度
31-1	138イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2010-2011年度 ②2012年度
31-2	138イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2010-2011年度 ②2012年度
32-1	139ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2008年度 ②2009-2012年度
32-2	139ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
33-1	161イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.86 ②7.02	①2009年度 ②2010-2012年度
33-2	161イ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.86 ②7.02	①2009年度 ②2010-2012年度
34	161ウ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.86 ②7.02	①2009-2010年度 ②2011-2012年度
41	36ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2009年度 ②2010-2012年度
42	56ウ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2010年度 ②2011-2012年度
43	56ウ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①7.02 ②6.2	①2010年度 ②2011-2012年度
44-1	101カ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①14.02 ②12.44	①2008-2011年度 ②2012年度
44-2	101キ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①14.02 ②12.44	①2008-2011年度 ②2012年度

44-3	101キ	スギ	Trunk _{SC}	幹材積の 年間成長 量	兵庫県民有林スギ・ヒノ キ収穫予想表・林分材 積表	決定した地位を使用して、兵庫県民 有林スギ・ヒノキ人工林収穫予想 表・林分材積表のP43-P47の材積を 用い、年材積成長量(増加量)は、齢 級毎の材積の差を5年で除した値と する。	吸収量算定時	不要	不要	14.02	2008-2012年度
45-1	101キ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①8.74 ②7.86	①2008-2011年度 ②2012年度
45-2	101キ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	8.74	2008-2012年度
45-3	101キ	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	8.74	2008-2012年度
46	98工	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
47-1	227ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2010-2012年度
47-2	227ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.14	2010-2012年度
47-3	227ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①9.42 ②8.14	①2010年度 ②2011-2012年度
48	230ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①10.88 ②9.42	①2009-2011年度 ②2012年度
51	107キ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	8.66	2010-2012年度
52	43イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	9.42	2008-2012年度
53-1	26ア	スギ	"	"	"	"	"	"	"	10.88	2008-2012年度
53-2	26イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	10.88	2008-2012年度
54-1	100イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①14.02 ②12.44	①2008-2011年度 ②2012年度
54-2	100イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	14.02	2008-2012年度
55	74ア	ヒノキ	"	"	"	"	"	"	"	①6.0 ②5.46	①2008-2009年度 ②2010-2012年度
56-1	62イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①6.94 ②6.12	①2010-2011年度 ②2012年度
56-2	62イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①6.12 ②5.38	①2009-2010年度 ②2011-2012年度
56-3	62イ	スギ	"	"	"	"	"	"	"	①6.12 ②5.38	①2008-2011年度 ②2012年度

IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



※1 内容は、毎木調査野帳（樹種・樹高・直径・プロット位置情報・図面等）、写真

※2 内容は、計画書、モニタリング計画書、モニタリング報告書、吸収量算定シート、森林施業計画書、森林施業計画認定請求書、森林施業計画認定書、養父市森林整備計画書、地域森林計画書、造林補助金交付決定通知書、収穫予想表・林分材積表

V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。(モニタリングガイドラインI-17～I-18参照)

(1) 教育訓練

兵庫県森林組合連合会が組織内及び養父市森林組合に対して、モニタリング及び吸収量算定・報告に関する知識等を維持するために、モニタリング体制、手順、算定方法、測定機器の正しい使用方法について教育を行い、品質の維持に努める。また、教育訓練実施の際には、説明資料等の記録を残す。

(2) 情報の保管

兵庫県森林組合連合会文書取扱規程にもとづきデータ及び文書の保管を実施する。なお、文書保存期間は平成35年3月31日までとし、電子データについては定期的なバックアップを行いデータを保存するようにし、内部監査時に適正に保存されているか確認する。

(3) データの確認

吸収量算定担当者が二度入力等により野外調査帳と算定ファイル等に入力ミスがないかを確認を行い、異常値がないかを確認する。

(4) 内部監査

兵庫県森林組合連合会J-VER内部監査マニュアルに基づき、兵庫県森林組合連合会管理課及び業務課にそれぞれ内部監査員を設置し、モニタリング報告書作成時に任意データ取り出しにより、適切に処理されているかを確認し、その内部監査時の記録を残す。

(5) 測定機器の維持・管理

測定機器の維持・管理については、養父市及び養父市森林組合所有のものについては、養父市森林組合のJ-VER調査担当者が、兵庫県森林組合連合会所有のものについては、兵庫県森林組合連合会のJ-VER調査担当者が行う。

また、機器使用時のキャリブレーションについては、実際に計測を行う者が測定当日に実施することとし、そのキャリブレーション実施日等を記録することとする。

VI. 誤差の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング	小班名	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
		値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m3/年)	誤差
モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法)	申請対象となる小班の面積を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている拡大係数のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種のR率を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されているR率の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の容積密度を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている容積密度の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の炭素係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている炭素係数の誤差のデフォルト値を記入	各都道府県において使用される収穫予想表から適切なものを選択し記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている収穫予想表の誤差のデフォルト値を記入
例	〇〇小班XX	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1-1	66イスキ	31.04	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
1-2	66アスキ	29.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
1-3	66アスキ	29.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
1-4	66イスキ	31.04	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
2-1	80キスキ	17.76	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	15.42	22.2%
2-2	80キスキ	17.76	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	15.42	22.2%
2-3	81イスキ	13.70	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
2-4	85ウスキ	14.71	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
3-1	80キヒキ	17.76	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.74	22.2%
3-2	80キヒキ	17.76	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9.58	22.2%
4-1	81エスキ	26.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
4-2	81エスキ	26.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
5-1	81エヒキ	26.36	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
5-2	81エヒキ	26.36	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
6	41アスキ	27.77	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
7	94ウスキ	10.51	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	12.44	22.2%
8-1	28エスキ	6.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
8-2	28オスキ	6.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
9-1	28エヒキ	6.10	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
9-2	28オヒキ	31.58	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
10	19イスキ	11.81	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
11-1	16ウスキ	20.12	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
11-2	16ウスキ	20.12	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
21	6イスキ	23.38	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
22	6イヒキ	23.38	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
23-1	11アスキ	11.19	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
23-2	11イスキ	14.79	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
23-3	11イスキ	14.79	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
24-1	11アヒキ	11.19	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%

24-2	11イヒノキ	14.79	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
24-3	11イヒノキ	14.79	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
25-1	32イスキ	17.35	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
25-2	32ウスキ	13.00	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
26-1	32イヒノキ	17.35	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.2	22.2%
26-2	32ウヒノキ	13.00	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.2	22.2%
27-1	57エスキ	6.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
27-2	57エスキ	6.36	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
28-1	84イスキ	8.59	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
28-2	84エスキ	13.95	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
29-1	84イヒノキ	8.59	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
29-2	84エヒノキ	13.95	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
30-1	138イスキ	40.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
30-2	138イスキ	40.10	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
31-1	138イヒノキ	40.10	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
31-2	138イヒノキ	40.10	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
32-1	139アスキ	41.03	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
32-2	139アスキ	41.03	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
33-1	161イヒノキ	22.16	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.86	22.2%
33-2	161イヒノキ	22.16	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.86	22.2%
34	161ウヒノキ	20.34	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.86	22.2%
41	36アスキ	23.62	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
42	56ウスキ	27.60	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
43	56ウヒノキ	27.60	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	7.02	22.2%
44-1	101カスキ	13.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.02	22.2%
44-2	101キスキ	13.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.02	22.2%
44-3	101キスキ	13.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.02	22.2%
45-1	101キヒノキ	13.50	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.74	22.2%
45-2	101キヒノキ	13.50	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.74	22.2%
45-3	101キヒノキ	13.50	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.74	22.2%
46	98エスキ	9.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
47-1	227アスキ	21.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
47-2	227アスキ	21.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.14	22.2%
47-3	227アスキ	21.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
48	230アスキ	16.18	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
51	107キスキ	27.02	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.66	22.2%
52	43イスキ	18.62	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.42	22.2%
53-1	26アスキ	19.00	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
53-2	26イスキ	17.23	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.88	22.2%
54-1	100イスキ	48.76	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.02	22.2%
54-2	100イスキ	48.76	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.02	22.2%
55	74アヒノキ	21.12	110%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6	22.2%
56-1	62イスキ	24.00	210%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.94	22.2%
56-2	62イスキ	24.00	310%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.12	22.2%
56-3	62イスキ	24.00	410%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6.12	22.2%

VI. 誤差の計算

全体の誤差 = **3.3%**

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス値(t-CO2/年)	地下部バイオマス値(t-CO2/年)	合計値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	VI-1誤差(入力シート)のパラメータから計算 =a*b*d*e*f*44/12	VI-2誤差(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1誤差(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 =地上部バイオマス * c	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている係数の誤差のデフォルト値を記入	次式により計算 =SQRT(活動量^2+係数^2)
例	〇〇小班XX	スギ	245.8	61.5	307.3	10.0%	23.1%	25.2%
1-1	66イスギ	スギ	207.0	51.8	258.8	10.0%	22.9%	25.0%
1-2	66アスギ	スギ	195.8	49.0	244.8	10.0%	22.9%	25.0%
1-3	66アスギ	スギ	226.2	56.5	282.7	10.0%	22.9%	25.0%
1-4	66イスギ	スギ	239.1	59.8	298.9	10.0%	22.9%	25.0%
2-1	80キスギ	スギ	193.9	48.5	242.4	10.0%	22.9%	25.0%
2-2	80キスギ	スギ	193.9	48.5	242.4	10.0%	22.9%	25.0%
2-3	81イスギ	スギ	79.0	19.7	98.7	10.0%	22.9%	25.0%
2-4	85ウスギ	スギ	84.8	21.2	106.0	10.0%	22.9%	25.0%
3-1	80キヒノキ	ヒノキ	143.6	37.3	181.0	10.0%	23.1%	25.2%
3-2	80キヒノキ	ヒノキ	157.4	40.9	198.4	10.0%	23.1%	25.2%
4-1	81エスギ	スギ	203.1	50.8	253.8	10.0%	22.9%	25.0%
4-2	81エスギ	スギ	203.1	50.8	253.8	10.0%	22.9%	25.0%
5-1	81エヒノキ	ヒノキ	171.2	44.5	215.7	10.0%	23.1%	25.2%
5-2	81エヒノキ	ヒノキ	171.2	44.5	215.7	10.0%	23.1%	25.2%
6	41アスギ	スギ	213.9	53.5	267.4	10.0%	22.9%	25.0%
7	94ウスギ	スギ	92.6	23.1	115.7	10.0%	22.9%	25.0%
8-1	28エスギ	スギ	47.0	11.7	58.7	10.0%	22.9%	25.0%
8-2	28オスギ	スギ	47.0	11.7	58.7	10.0%	22.9%	25.0%
9-1	28エヒノキ	ヒノキ	39.6	10.3	49.9	10.0%	23.1%	25.2%
9-2	28オヒノキ	ヒノキ	205.1	53.3	258.5	10.0%	23.1%	25.2%
10	19イスギ	スギ	91.0	22.7	113.7	10.0%	22.9%	25.0%
11-1	16ウスギ	スギ	116.0	29.0	145.0	10.0%	22.9%	25.0%
11-2	16ウスギ	スギ	116.0	29.0	145.0	10.0%	22.9%	25.0%
21	6イスギ	スギ	180.1	45.0	225.1	10.0%	22.9%	25.0%
22	6イヒノキ	ヒノキ	151.9	39.5	191.3	10.0%	23.1%	25.2%
23-1	11アスギ	スギ	86.2	21.6	107.8	10.0%	22.9%	25.0%
23-2	11イスギ	スギ	113.9	28.5	142.4	10.0%	22.9%	25.0%
23-3	11イスギ	スギ	113.9	28.5	142.4	10.0%	22.9%	25.0%
24-1	11アヒノキ	ヒノキ	72.7	18.9	91.6	10.0%	23.1%	25.2%

24-2	11イヒノキ	ヒノキ	96.1	25.0	121.0	10.0%	23.1%	25.2%
24-3	11イヒノキ	ヒノキ	96.1	25.0	121.0	10.0%	23.1%	25.2%
25-1	32イスギ	スギ	115.7	28.9	144.7	10.0%	22.9%	25.0%
25-2	32ウスギ	スギ	86.7	21.7	108.4	10.0%	22.9%	25.0%
26-1	32イヒノキ	ヒノキ	99.5	25.9	125.4	10.0%	23.1%	25.2%
26-2	32ウヒノキ	ヒノキ	74.6	19.4	94.0	10.0%	23.1%	25.2%
27-1	57エスギ	スギ	49.0	12.2	61.2	10.0%	22.9%	25.0%
27-2	57エスギ	スギ	49.0	12.2	61.2	10.0%	22.9%	25.0%
28-1	84イスギ	スギ	66.2	16.5	82.7	10.0%	22.9%	25.0%
28-2	84エスギ	スギ	107.5	26.9	134.3	10.0%	22.9%	25.0%
29-1	84イヒノキ	ヒノキ	55.8	14.5	70.3	10.0%	23.1%	25.2%
29-2	84エヒノキ	ヒノキ	90.6	23.6	114.2	10.0%	23.1%	25.2%
30-1	138イスギ	スギ	308.9	77.2	386.2	10.0%	22.9%	25.0%
30-2	138イスギ	スギ	308.9	77.2	386.2	10.0%	22.9%	25.0%
31-1	138イヒノキ	ヒノキ	260.5	67.7	328.2	10.0%	23.1%	25.2%
31-2	138イヒノキ	ヒノキ	260.5	67.7	328.2	10.0%	23.1%	25.2%
32-1	139アスギ	スギ	316.1	79.0	395.1	10.0%	22.9%	25.0%
32-2	139アスギ	スギ	273.7	68.4	342.1	10.0%	22.9%	25.0%
33-1	161イヒノキ	ヒノキ	161.2	41.9	203.1	10.0%	23.1%	25.2%
33-2	161イヒノキ	ヒノキ	161.2	41.9	203.1	10.0%	23.1%	25.2%
34	161ウヒノキ	ヒノキ	147.9	38.5	186.4	10.0%	23.1%	25.2%
41	36アスギ	スギ	182.0	45.5	227.5	10.0%	22.9%	25.0%
42	56ウスギ	スギ	212.6	53.2	265.8	10.0%	22.9%	25.0%
43	56ウヒノキ	ヒノキ	179.3	46.6	225.9	10.0%	23.1%	25.2%
44-1	101カスギ	スギ	134.0	33.5	167.5	10.0%	22.9%	25.0%
44-2	101キスギ	スギ	134.0	33.5	167.5	10.0%	22.9%	25.0%
44-3	101キスギ	スギ	134.0	33.5	167.5	10.0%	22.9%	25.0%
45-1	101キヒノキ	ヒノキ	109.2	28.4	137.6	10.0%	23.1%	25.2%
45-2	101キヒノキ	ヒノキ	109.2	28.4	137.6	10.0%	23.1%	25.2%
45-3	101キヒノキ	ヒノキ	109.2	28.4	137.6	10.0%	23.1%	25.2%
46	98エスギ	スギ	63.4	15.8	79.2	10.0%	22.9%	25.0%
47-1	227アスギ	スギ	126.1	31.5	157.6	10.0%	22.9%	25.0%
47-2	227アスギ	スギ	126.1	31.5	157.6	10.0%	22.9%	25.0%
47-3	227アスギ	スギ	145.9	36.5	182.3	10.0%	22.9%	25.0%
48	230アスギ	スギ	124.6	31.2	155.8	10.0%	22.9%	25.0%
51	107キスギ	スギ	165.7	41.4	207.1	10.0%	22.9%	25.0%
52	43イスギ	スギ	124.2	31.0	155.2	10.0%	22.9%	25.0%
53-1	26アスギ	スギ	146.4	36.6	183.0	10.0%	22.9%	25.0%
53-2	26イスギ	スギ	132.7	33.2	165.9	10.0%	22.9%	25.0%
54-1	100イスギ	スギ	484.0	121.0	605.1	10.0%	22.9%	25.0%
54-2	100イスギ	スギ	484.0	121.0	605.1	10.0%	22.9%	25.0%
55	74アヒノキ	ヒノキ	117.2	30.5	147.7	10.0%	23.1%	25.2%
56-1	62イスギ	スギ	117.9	29.5	147.4	10.0%	22.9%	25.0%
56-2	62イスギ	スギ	104.0	26.0	130.0	10.0%	22.9%	25.0%
56-3	62イスギ	スギ	104.0	26.0	130.0	10.0%	22.9%	25.0%

Ⅶ. 備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。